

科目名	英語	英文表記	English	22年3月1日		
教員名：青木久実、新川智清、Timothy, Newell						
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業方法	授業期間
全クラス	1年	必修	履修	3単位	演習	通年
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・多読学習の意義と方法を十分に理解させる。 ・易しい英文を大量に読むことによって、基本的な英語力を習得する。 ・絵本から読み始め、YL（読みやすさレベル）0.8程度の図書を読めるようにする。 ・特に後期は授業内外において週7千語以上を読むようにする。 ・TOEIC Bridge の Reading 部門に対応できる基礎的読解力を身につける。 					
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	
	◎	○	○		JABEE プログラム教育目標	
授業概要、方針、履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・次に挙げる図書を読んでいく：Oxford Reading Tree(1-9), Longman Literacy Land (1-6), Oxford Bookworms Starters, Penguin Readers Easystarts, Macmillan Readers Starter, Cambridge English Readers Starter など ・授業以外での読書の習慣をつける。 					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験 30%×2=60%・外部試験（TOEIC Bridge IP-Reading）30%・読書総語数及び内容 10% 					
教科書・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・『めざせ100万語 読書記録手帳』（SSS英語学習法研究会） ・多読図書教材ー Oxford Reading Tree, Longman Literacy Land, Oxford Bookworms, Penguin Readers など 					
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・『今日から読みます英語100万語』（日本実業出版） ・『英語多読完全ブックガイド』（コスモピア株式会社） <p style="text-align: right;">(他にも参考図書を探す場合のキーワード：SSS英語学習法研究会： http://www.seg.co.jp/sss、多読)</p>					
授 業 計 画						
授 業 項 目	時 間	授 業 内 容				
本科目学習についての概要説明	2	英語を学ぶことの意義、体系的かつ継続的な多読学習法、授業の進め方や評価方法等について説明する。				
多読教材を用いた各自の学習	58	<ul style="list-style-type: none"> ・多読学習法の三原則である「辞書を引かない」「わからない単語は飛ばす」「本の内容が分からず、つまらなくなったら後回しにする」を実践する。 ・Oxford Reading Tree と Longman Literacy Land を多読導入の基本図書とし、どの学生もタイトルだけが英語の絵本から読み始める。 ・100%の理解を求めず、大量の英文を楽しく読めることを目標にし、徐々にレベルを上げていく。 ・毎分 80 語程度で英文を読める各自に適したレベルの本を見つけ、日本語を介さずに英文を理解することを目指す。 ・読んだ本については、読書記録手帳に、総語数、YL（読みやすさレベル）、シリーズ名、感想を記録する。 				
前学期期末試験の実施	[1]					
多読教材を用いた各自の学習	30	<ul style="list-style-type: none"> ・休みの間に多読が中断した可能性を考慮し、前期の読書レベルより一段下の多読教材から読み始める。 ・読書方法に変化を持たせるー多読学習法の三原則を堅持しつつ、自分に適したレベル、それより上のレベル、それより下のレベルの本を混ぜて読む「チャレンジ読み」を実行する。 ・英文を毎分 90 語程度で、30 分以上継続して読めるようにする。 ・読了後は、読書記録手帳に記録する。 				
後学期期末試験の実施	[1]					
学習時間合計	90	実時間			75	

